



2023年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月13日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長

（氏名）大越 勤

問合せ先責任者 （役職名）取締役管理部長

（氏名）森田 竜太郎

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2022年12月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年1月期第3四半期の連結業績（2022年2月1日～2022年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年1月期第3四半期	23,017	7.4	892	35.1	923	14.4	606	△12.1
2022年1月期第3四半期	21,431	△0.3	660	△20.1	807	△23.5	689	25.5

（注）包括利益 2023年1月期第3四半期 606百万円（△16.2%） 2022年1月期第3四半期 724百万円（29.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年1月期第3四半期	90.05	—
2022年1月期第3四半期	102.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年1月期第3四半期	18,858	15,072	79.9	2,239.52
2022年1月期	18,255	14,627	80.1	2,173.43

（参考）自己資本 2023年1月期第3四半期 15,072百万円 2022年1月期 14,627百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2023年1月期	—	0.00	—		
2023年1月期（予想）				24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年1月期の連結業績予想（2022年2月1日～2023年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,100	4.6	1,240	9.1	1,360	4.0	760	△21.9	112.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年1月期3Q	7,335,634株	2022年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2023年1月期3Q	605,419株	2022年1月期	605,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年1月期3Q	6,730,215株	2022年1月期3Q	6,730,215株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月から8月にかけて新型コロナウイルス感染拡大の第7波に見舞われたものの、緊急事態宣言等の行動制限は発出されず、また10月以降の値上げを前に一部で駆け込み需要が見られ、景気は回復基調にありました。しかしながら、急激な円安による諸物価の高騰が進み、またロシアによるウクライナ侵攻等も含めた世界的なエネルギー価格の上昇等が続いており、国内・海外経済ともに不透明な状況と厳しい事業環境が見込まれています。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であるものの、まん延防止等重点措置の解除による家庭需要の縮小や、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、また原料相場の高騰、物流費の増加等により、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、昨年来より政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、お客様のニーズに応えるべく店舗運営を行ってまいりました。食肉等の小売業においては、感染拡大が続く中、まず店舗の営業を継続すべく人員確保等に努めてまいりました。お客様満足度の向上や品質管理の徹底等の諸施策を実施し、今後もお客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持を図ってまいります。

外食業にあつては、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が時短営業を余儀なくされる事態となりましたが、3月の解除後は行動制限もないことから回復基調となったものの、行動制限のない今夏の第7波における影響等を考慮すれば、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様と従業員の安全の前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。なお、上記休業や時短営業に伴う助成金や協力金の収入は補助金収入、損失は店舗休止等損失として計上しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高230億17百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は8億92百万円(同35.1%増)、経常利益は9億23百万円(同14.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6百万円(同12.1%減)となりました。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は3店、閉店は6店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は146店になりました。内訳は食肉小売店136店(前期末比1店減少)、惣菜小売店10店(前年末比2店減少)であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、前年同期では、損益取込期間が短い(株)マルチョウ神戸屋の影響もあり、売上高は182億3百万円(前年同期比0.9%増)となりました。営業利益については、原料相場の高騰等の影響を受け10億46百万円(同7.4%減)となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第3四半期連結累計期間は以下となっています。

(株)オーエムツーミート	2022年2月1日～2022年10月31日
(株)マルチョウ神戸屋	2021年11月1日～2022年7月31日

「外食業」

当第3四半期連結累計期間の開店は1店であり、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は40店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響が緩和の兆しもあり、売上高は48億14百万円(前年同期比42.0%増)、営業利益33百万円(前年同期は営業損失2億89百万円)となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第3四半期連結累計期間は以下となっています。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業)	2021年12月1日～2022年8月31日
(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業)	2022年1月1日～2022年9月30日

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	132億35百万円(前期末比+6.5%)
固定資産	56億23百万円(同△3.6%)
総資産	188億58百万円(同+3.3%)
流動負債	32億56百万円(同+9.4%)
固定負債	5億29百万円(同△18.5%)
純資産	150億72百万円(同+3.0%)
負債・純資産合計	188億58百万円(同+3.3%)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月14日の決算短信で公表致しました2023年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらす連結業績に与える影響が小売事業と外食事業に相反する影響を与えていることなどから、現時点において合理的に算定することが困難であるため変更しておりません。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,617,782	10,669,571
受取手形及び売掛金	360,742	318,377
テナント未収入金	1,441,481	1,357,972
商品及び製品	508,373	482,696
原材料及び貯蔵品	33,557	37,596
未収入金	315,770	275,101
その他	147,560	95,114
貸倒引当金	△1,222	△1,263
流動資産合計	12,424,046	13,235,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,850,818	3,817,839
減価償却累計額	△2,341,544	△2,401,464
建物及び構築物(純額)	1,509,273	1,416,374
機械装置及び運搬具	492,052	509,104
減価償却累計額	△341,550	△363,181
機械装置及び運搬具(純額)	150,501	145,922
土地	582,212	582,212
その他	2,095,601	2,100,324
減価償却累計額	△1,721,165	△1,771,492
その他(純額)	374,436	328,831
減損損失累計額	△823,868	△818,189
有形固定資産合計	1,792,556	1,655,152
無形固定資産		
のれん	257,852	212,349
その他	95,440	84,947
無形固定資産合計	353,292	297,296
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379,311	2,363,372
長期貸付金	36,355	28,156
退職給付に係る資産	151,563	170,011
繰延税金資産	91,561	131,161
敷金及び保証金	1,000,735	946,908
その他	37,829	43,173
貸倒引当金	△11,880	△11,880
投資その他の資産合計	3,685,476	3,670,903
固定資産合計	5,831,326	5,623,352
資産合計	18,255,372	18,858,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,786,117	1,875,359
1年内返済予定の長期借入金	124,375	149,144
未払金	344,724	316,159
未払法人税等	144,101	143,093
賞与引当金	91,187	181,861
その他	487,190	590,905
流動負債合計	2,977,697	3,256,521
固定負債		
長期借入金	190,682	84,204
退職給付に係る負債	52,712	54,534
役員退職慰労引当金	72,118	59,941
資産除去債務	252,453	248,513
その他	82,062	82,351
固定負債合計	650,028	529,545
負債合計	3,627,725	3,786,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	13,218,363	13,662,906
自己株式	△597,619	△597,619
株主資本合計	14,479,442	14,923,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,764	128,917
退職給付に係る調整累計額	23,439	19,548
その他の包括利益累計額合計	148,204	148,465
純資産合計	14,627,646	15,072,451
負債純資産合計	18,255,372	18,858,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)
売上高	21,431,409	23,017,737
売上原価	13,516,976	14,250,082
売上総利益	7,914,433	8,767,654
販売費及び一般管理費	7,253,562	7,874,660
営業利益	660,871	892,994
営業外収益		
受取利息	576	2,947
受取配当金	1,958	1,937
持分法による投資利益	89,372	—
家賃収入	3,232	3,154
協賛金収入	28,856	25,170
受取手数料	688	688
その他	23,761	13,505
営業外収益合計	148,446	47,403
営業外費用		
支払利息	311	392
不動産賃貸原価	172	217
持分法による投資損失	—	13,602
その他	1,026	2,323
営業外費用合計	1,510	16,535
経常利益	807,806	923,862
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1,088
受取補償金	1,381	—
補助金収入	710,161	171,496
特別利益合計	711,543	172,584
特別損失		
有形固定資産売却損	69	—
有形固定資産除却損	1,754	5,252
減損損失	19,939	75,662
店舗閉鎖損失	845	1,958
店舗休止等損失	363,823	39,201
その他	1,100	—
特別損失合計	387,532	122,074
税金等調整前四半期純利益	1,131,817	974,372
法人税、住民税及び事業税	335,279	403,251
法人税等調整額	106,891	△34,947
法人税等合計	442,170	368,304
四半期純利益	689,646	606,068
親会社株主に帰属する四半期純利益	689,646	606,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益	689,646	606,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,171	△770
退職給付に係る調整額	△843	△1,807
持分法適用会社に対する持分相当額	14,374	2,838
その他の包括利益合計	34,701	261
四半期包括利益	724,348	606,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724,348	606,329

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしておりますが、これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年2月1日 至2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,042,118	3,389,291	21,431,409	—	21,431,409
セグメント間の内部売上高又は 振替高	4,050	50,724	54,774	△54,774	—
計	18,046,168	3,440,016	21,486,184	△54,774	21,431,409
セグメント利益又は損失(△)	1,130,208	△289,930	840,277	△179,406	660,871

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,406千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが断続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」9,099千円、「外食業」10,839千円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年2月1日 至2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	18,203,316	4,814,420	23,017,737	—	23,017,737
外部顧客への売上高	18,203,316	4,814,420	23,017,737	—	23,017,737
セグメント間の内部売上高又は 振替高	4,050	41,365	45,415	△45,415	—
計	18,207,366	4,855,786	23,063,153	△45,415	23,017,737
セグメント利益	1,046,473	33,658	1,080,131	△187,137	892,994

(注) 1. セグメント利益の調整額△187,137千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが断続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」65,259千円、「外食業」10,402千円です。